

外国人×場づくり×協働

～プログラム・デザインの視点から 日本語教育を再考する～

2018年6月に発表された「骨太方針」で、日本政府は新たな在留資格を創設するなど外国人材の受入れを進めていくことを発表しました。現在、すでに約250万人、約194か国・地域の外国人が暮らしていますが、今後ますます多様な人々と共に地域をつくっていく視点が必要不可欠になっていきます。今回のセミナーでは、プログラム・デザインの基礎を学び、地域と協働する日本語教育をコーディネートする上で必要なことは何かを考えます。

※本講座は、地域と協働して行動・体験型の教室を運営する「地域多文化コーディネーター」の養成講座のプログラムの一環として開催するものを一般公開で行うものです。

■日時 **2018年12月16日** 日
10:00～17:00

■講師 **中脇健児氏** (場とコトLAB 代表)

1980年大阪生まれ。“その場にいる人とその場だからできるコトを考える”をモットーに、「場とコトLAB」を2012年よりゆるやかに立ち上げ、2016年本格始動。14年間、伊丹市文化振興財団に所属し、地域と連携して手がけた「伊丹オトラク」「鳴く虫と郷町」は、いずれも街ぐるみの規模となり、10年以上続く。「遊び心」をキーワードに、アート、コミュニティプログラム、地場産業支援、教育、ワークショップなど活動は多岐に渡る。共著に『タウンマネージャー』『地域×クリエイティブ×仕事 ～淡路島発ローカルをデザインする～』(ともに学芸出版)。

NPO法人ワークショップデザイナー推進機構副代表理事 NPO法人ことふラボ理事 京都造形芸術大学アートプロデュース学科 非常勤講師 大阪芸術大学 芸術計画学科 非常勤講師 天理医療大学 非常勤講師



■場所 **岡崎市図書館交流プラザリぶら301会議室**
(愛知県岡崎市康生通西4丁目71番地)



■参加費 一般：1,000円 会員：無料 (当日入会も可)

■定員 20名

■申込み viva.okazaki@gmail.com

件名に「Vivaつながるセミナー3」申込み、本文に①名前、②所属、③電話番号
④参加動機 を明記の上、上記メールアドレスまでお送りください。

主催：Vivaおかざき！！

後援：岡崎市

◆団体概要◆2010年に設立し、外国人住民向けセミナーや地域住民との交流イベントなど、地域の多文化共生を進める活動を開始。2015年より『文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語実践プログラム(B)』を受託。2017年には、内閣府「子どもと家族・若者応援団」特命大臣表彰。年間のべ200名ほどが教室に通っている。

